

ジャパンケーブルキャスト、Lアラート実証実験での ライフライン・生活情報の地図化に協力

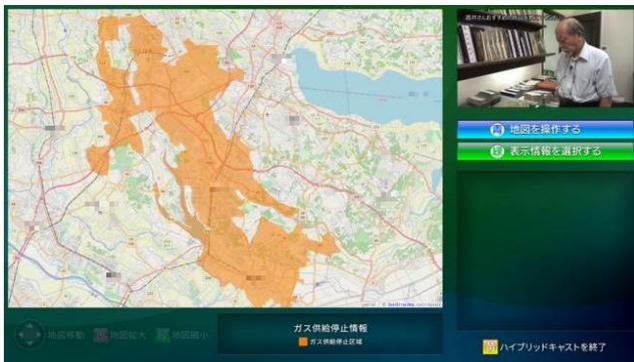
ジャパンケーブルキャスト株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長:藤原洋、以下「ケーブルキャスト」)は、2021年2月8日に実施された、Lアラート「お知らせ情報の地図化」に係る総務省の実証実験において、Lアラートの「お知らせ」に分類される給水所情報、入浴支援情報、ガス供給停止情報等のライフライン情報や生活情報を、Hybridcastの機能を活用して「点・線・面」で地図表示化する実証実験協力を行いました。

ケーブルキャストは、Lアラート協力事業者として、これまでもHybridcastを活用してテレビ画面上で避難所等の災害情報を地図上に表示する実証実験に参加するなど、Lアラート地図表示化実証実験に協力してまいりました。

今回の実証実験では被災後に発報されるライフライン情報や生活情報などの「お知らせ」情報を視覚的に地図に表示することで、外国人やご高齢の方にもよりわかりやすく情報伝達できるようになりました。「お知らせ」情報は、テキスト情報も併せて表示することが可能です。

■ 「お知らせ」情報の地図表示化 画面イメージ

・ガス供給停止情報



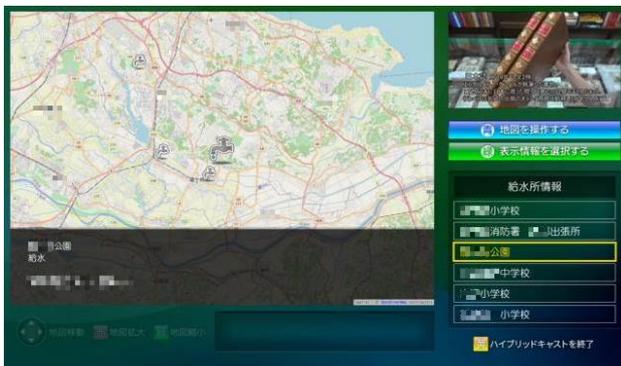
※ガス供給停止区域を「面」で表示

・停電発生情報



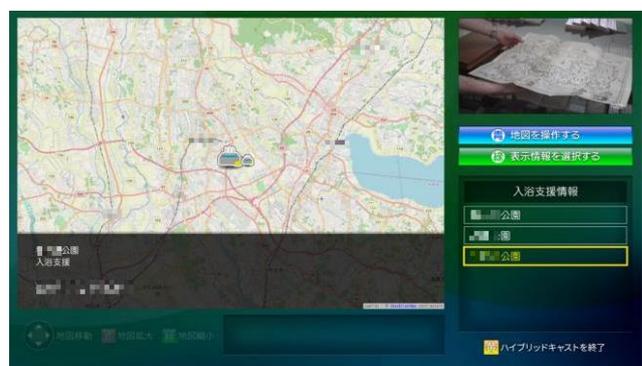
※停電発生区域を「面」で表示

・給水所情報



※給水所を「点」(アイコン)で表示

・入浴支援情報



※入浴支援施設を「点」(アイコン)で表示

・その他情報



※災害廃棄物仮置き場侵入経路を「線」とテキストで表示

・その他情報



※避難所準備発令区域の避難所を「面」と「点」で表示

※1 上掲の画面イメージは実証実験期間中の試験映像であり、実際のサービスとは異なります。

※2 「L アラート」は、総務省及び一般財団法人マルチメディア振興センターの登録商標です。

※3 「Hybridcast」は、日本放送協会(NHK)の登録商標です。

Hybridcast は、放送波の中にインターネット上のコンテンツの取得を指示する制御信号を組み込み、テレビ放送と、HTML5で記述されたWebコンテンツとの融合を可能にする次世代放送サービスです。スマートフォンやタブレット端末との連携も可能なテレビ放送サービスです。

ケーブルキャストは、今後も、ケーブルテレビを通じたサービス提供にとどまらず、地域の暮らしを便利にするサービスを、メディアを超えて提供し、デジタルトランスフォーメーション(DX)による地域創生に寄与するべく、取り組んでまいります。

以上

■ケーブルキャストについて

会社名：ジャパンケーブルキャスト株式会社

所在地：〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

代表者：代表取締役会長兼社長 藤原 洋

設立：2002年(平成14年)1月

URL：<https://www.cablecast.co.jp/>

ブロードバンドタワーグループのジャパンケーブルキャスト株式会社(JCC)は、「笑顔で彩り豊かな地域社会づくりに貢献し、地域・お客様と共に持続的成長」を目指し2002年より事業を開始しました。ケーブルテレビ事業者向け多チャンネル配信プラットフォーム「JC-HITS」、コミュニティチャンネル向けデータ放送サービス「JC-data」、ケーブルテレビ専用チャンネル「チャンネル700」など、地域のお客様に必要とされる映像・情報の提供に向けサービスを提供しております。

■本件に関するお問い合わせ先

ジャパンケーブルキャスト株式会社 営業本部 イノベーションセンター

電話:03-6910-2903

メールアドレス: pfcontact@cablecast.co.jp